

gooddays

Vol. **29**

around KANDA NISHIKI - CHO
New Culture & Alternative Lifestyle

2022 SUMMER ISSUE
PRICE 0 YEN

「ちょっといいもの、
自分に贈ろう！」

*Thank you
for your hard work!
Gift to me!*





around KANDA NISHIKI - CHO

Special Issue (29) Summer '22

ちょっといいもの、 自分に贈ろう！

TEXT・Runa Kitai / PHOTO・Yuta Suzuki

目標達成のご褒美に、心が疲れたときの励ましに、いつも頑張っている自分へちょっと贅沢なギフトを贈ってみるのはいかがでしょうか？ 今号では、そんなときに訪れたい、とっておきに出会える2つのお店をピックアップしました。

自宅にいながらでも気軽にものが手に入る時代に、わざわざ店に行き、買い物をする事の利点。それは、商品を実際に見て、手に取れることはもちろん、スタッフの人との会話や、ディスプレイのセンス、品揃えも含めて、店の雰囲気を楽しみ、店の考え方を吸収できることにあるのだと思います。足を運ぶ買い物には、オンラインでは味わえない、さまざまな“体験”が潜んでいるのです。

人生には偶然があるように、探し求めているなにかと運命的に出会うことだってある。

目的の品だけではなく、自分の知らなかったいい物やいい繋がりにも出会えるものです。

ショッピングやグルメを楽しめる、新旧入り混じった神田錦町界隈。毎号テーマに沿って、こだわりのある人にインタビュー。神田のヒト・モノ・コトに出会える情報チャンネルです。

大和屋履物店
船曳竜平さん

大和屋履物店の5代目。大手生命保険会社に勤めた後、2021年より奥様の実家である大和屋履物店の店主として店頭に立つ。明治大学出身で、神保町は自身もゆかりのある街。「神田界隈は昔ながらの老舗と新しいお店が同居していて、多様な可能性を楽しむことができる街ですね」



下駄だけじゃない。大切な日本の文化を継ぐ

「大和屋履物店」は明治17年の創業以来、地元の人を中心に神田神保町の履物文化を支えてきました。現在は3、4、5代目の「三代一体」で店を切り盛りしながら、下駄や雪駄、手ぬぐいをはじめさまざまな日本の工芸品・和小物を販売しています。「昨年5月に下駄屋としてリニューアルオープンするまでは、いわゆる昔ながらの履物屋さんでした。けれど、より広い視野で見たときに、このお店をただ残すだけではないかと。受け継がれてきた技を大切にしつつ、時代に合わせて変えるべきものは変える。作り手の感性が息づく商品だけを扱う。そういうことを一つずつ決めていって、最終的に『文化を継ぐ店』というコンセプトでの再出発になりました」

大和屋の履物は、好みの下駄台と花緒をお客さんが選んで組み合わせるスタイル。中には一

点ものの作品もあり、職人さん自慢の逸品が手に入ります。「問屋を介さず、職人さんと直接やりとりをして仕入れをしています。花緒も既製品ではなく、生地から選んだり、作家さんをお願いして作ってもらったり。大和屋でしか出会えないものをみなさんにお届けできればと思っています」

下駄や雪駄の他、日本各地の作家さんによる手ぬぐいやバッグ、和雑貨なども販売。この神保町で生まれ育った染色作家・小倉充子氏の手仕事も多数取り扱っています。「お店の半分はギャラリースペースとして随時さまざまなイベントを企画しています。今後も、東京のど真ん中という立地を活かして、貴重な伝統工芸品に出会えたり、地方にいらっしゃる作家さんが活躍したりできる場として盛り上げていく予定です」

gooddays channel



大和屋履物店
東京都神田神保町3-2-1 サンライトビル 1F
03-3262-1357
11:00-19:00 日祝休 <https://geta-yamatoya.com/>

オリジナルの下駄や雪駄
(¥6,700～)

50種類以上の下駄台と花緒から好きなものを選んで、自分だけの一足が作れる。ひとりひとりの足の形に合わせてぴったり花緒をすげてくれるので、足も痛くならないのだとか。



PICK UP!

TOBICHIが始動した2014年から企画・運営に携わる。「ほぼ日手帳2022の販売記念に、近所の文具店さんや書店さんにご協力いただいて、スタンプラリーを開催しました。神田界隈は巡って楽しい街。これからも街の魅力を発信できる、楽しいことを企画したいです」



毎日がちょっとごきげんに。あったらいいなに出会える場所

2021年1月、南青山からここ神田錦町に引っ越してきた「TOBICHI 東京」は、ほぼ日の実店舗・ギャラリー・イベント会場です。TOBICHI は、WEBサイト「ほぼ日刊イトイ新聞(ほぼ日)」が現実の街に飛び出す飛び地であり、ほぼ日とコラボレーションする作家やクリエイターにとっての飛び地としても機能しています。

ほぼ日本社ビルの1階に位置するTOBICHIでは、たくさんのほぼ日オリジナルグッズを販売。ほぼ日が企画・製造・販売までを手がけた、ユニークな生活雑貨がずらりと並んでいます。「オリジナルグッズは自分達が本当にほしいと思ったものを作っているのだから、ほぼ日社員もよく買い物にきますよ」。言わずと知れた「ほぼ日手帳」は、もう20年以上作り続けているロングセラー商

品。「朝から晩まで忙しく過ごすのが当たり前になった世の中のライフスタイルに合わせて、手帳ももっと自由にたくさん書き込めたいよね、という話になって。1日1ページ使える、今までなかった手帳が生まれました」。その他にも、水滴をぐっと吸い込み、抜群の吸水性が自慢のダブルガーゼとパイルの三重織りで作られた「やさしいタオル」や、2001年の誕生以来、400以上のデザインが生まれているという、見てもかわいい「ハラマキ」なども、長く愛され続けているほぼ日定番の人気アイテムです。

最近では、スタッフの増員にともない扱うジャンルも増えていき、毎週新作が発売されることも！自分へのご褒美にはもちろん、大切な人への贈り物を探す際にもぜひ訪れたいお店です。

food&ys channel



TOBICHI 東京
東京都千代田区神田錦町3-18 ほぼ日神田ビル1F
03-5422-3805
11:00~19:00 不定休
<https://www.1101.com/tobichi/tokyo>

ほぼ日のアースボール
「ジャーニー」(¥11,000)

『地球ももっと親しくなる手段として家に地球が転がってっていいよね』、そんな糸井さんの発案から生まれたアースボール。ニューモデルの「ジャーニー」は、カラフルで心躍るデザイン。スマホやタブレットをかざせば、世界のいろんな情報や地球の「今」がのぞける。



Shin;Kuuのスキンケアアイテム(¥1,980~)

ヘア&メイクアップアーティスト・岡田いずみさんとほぼ日が手がけた、ビューティーブランド。気分も調子も毎日違う自分に寄り添ってくれる、そんな美容を提案。女性はもちろん、男性にもおすすめ。



PICK UP!

KANDA Walking Guide

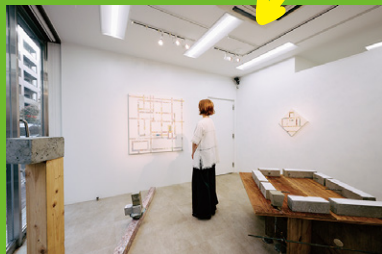
Jimbocho
to
Nishiki cho

gooddays編集部が歩いて回れる
おすすめ神田ルートをご紹介します。
買い物にアート鑑賞、最後はほっこり
落ち着く酒場で締めましょう!



創業明治17年 大和屋履物店

大和屋履物店
東京都神田神保町3-2-1 サンライツビル1F
03-3262-1357
11:00-19:00 日祝休
<https://geta-yamatoya.com/>



1L Legame(イル・レガメ)
東京都千代田区神田錦町
3-6-12 コスモビル1F
17:00-23:30(L.O.23:00)
日祝



建築家・インテリアデザイナーとして活躍する、三上紀子氏主宰の神保町
さくら通りに位置するアートギャラリー。現代アート・建築・工芸を軸に、生
活空間に溶け込む身近なアートを紹介。不定期で開催されるイベント
やワークショップも要チェック!

art gallery & Legion
東京都千代田区神田神保町2-11
12:00-18:00
展覧会会期中 : 日祝休
その他の期間 : 不定休
<https://legion.jp>



靖国通りから一本入った路地にある、隠れ家的喫茶店。店の壁
面には約5,000冊の本がびっしり。15時間かけてドリップしたと
いう水出しアイスコーヒー(¥800)は、まるでウイスキーのような
官能的な味わいで、下戸でもバー気分が味わえる。



TOBICHI HOBONICHIの

女性の一人客が多いという、一風変わった明るいバー。マス
ターは元サラリーマンで、飲みながら仕事の愚痴をこぼせる
のもうれしい。自家製のお通しは味、ボリュームともに満点!一
軒目としても重宝したい、知る人ぞ知る名店。(店内喫煙可)



TOBICHI
東京都千代田区神田錦町3-18
ほぼ日神田ビル1F 11:00-19:00 不定休
<https://www.1101.com/tobichi/tokyo>



眞踏珈琲店
東京都千代田区神田小川町3-1-7
12:00-23:00(日祝21:00まで)
<http://coffeemafumi.html.xdomain.jp>



歩いて見つけた、フオトスポット! CHECK!

靖国通り駿河台地下交差点と白山通りを結ぶ「すずらん通り商店街」には、かわいいうすずらんのモチーフが点在!

はちまき **神田ばとんりれえ** ランチョン

KANDA BUTTON RELAY
... 第7回 ...

老舗天ぷら屋がおすすめる！
神保町でおすすめるの
老舗洋食屋・ビアホール

店主 青木昌宏さん  鈴木寛さん 店主



はちまき

文豪・江戸川乱歩も通った1931年創業の天ぷら屋。味とコスバの良さに加え、神保町生まれ神保町育ちの店主・青木さんの優しいお人柄も長年愛される理由のひとつ。

東京都千代田区神田神保町1-19
050-5487-1636
平日 11:00~21:00(L.O.21:00)
土日祝11:00~20:30(L.O.20:00)

ランチョン

「生ビールが飲める洋食屋」として、明治42年に創業。客席数は、全110席と広々。洋食の定番料理をはじめ、作家・吉田健一氏発案のビーフパイなどランチョン独自のメニューも必食。

東京都千代田区神田神保町1-6
03-3233-0866
月~金 11:30~21:30(L.O.21:00) 土 11:30~20:30 日祝休



4代目の現マスター・寛さんのお兄さんとは小学校・中学校と同じクラスの友人で、父親同士も同級生だったりと、ランチョンさんとは家族ぐるみで仲良くさせてもらっています。小さな頃は、蝶ネクタイをつけてきびきびと働く先代のマスターの姿を見て、かっこいいなと憧れたものです。私がいつも注文するのは、お皿からはみ出るほど大きなエビフライ。ザクザクの衣に、プリッとした海老の食感がたまりません！ビール片手に娘とランチョンさんで食事をする時間が、私の贅沢なひとときです。(青木さん)

香ばしく揚げられた、看板メニュー「自慢メンチカツ」(¥1,150) には中が、ジュシーで食べ応え満点!コクのある特製デミグラスソースとの相性も◎。きめ細やかな泡がたまらない生ビール(¥690)のアサヒ生=通称「マルエフ」とどうぞ。

神田ばとんりれえ



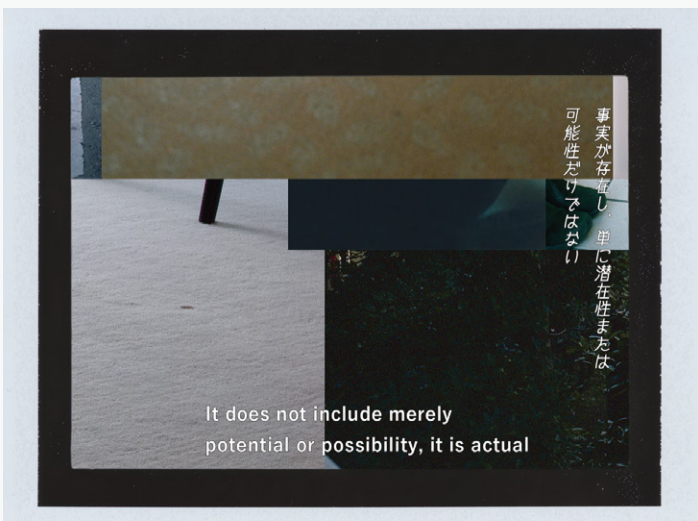
忙しい日のまかないは、はちまきさんの天井弁当にお世話になることもしばしば。この神田界隈には、はちまきさんしかり、昔から変わらぬおいしさを提供してくれるお店がたくさんあります。ランチョンでも、安定しておいしいビールを提供できるように、代々ビールの注ぎ手は店主のみ。古本屋を巡った後は、ランチョンでエビフライやメンチカツなど、昔ながらの洋食をお召し上がりながら、おいしい生ビールをぐびっと！神保町らしい日を楽しみに、ぜひ訪れていただけたら幸いです。(鈴木さん)



PHOTO WALL Vol II

テラススクエア
フォトエキシビジョン
2022/5/23(月)～2022/8/19(金)
開館時間8:00-20:00(最終日のみ18:30まで)
休館日 土日祝

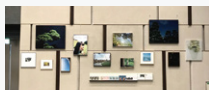
テラススクエアでは、パブリックスペースを活用した
フォトエキシビジョンを開催中。
写真家がとらえた一瞬、そして街の様子とは。



事実が存在し、単に潜在性または可能性だけではない
It does not include merely potential or possibility, it is actual

『写真は瞬間を定着させながら、見ることも含め、あらかじめ時間軸の中に位置付けられている。写真を写すこと、見ることには、日々の営みの中で、何をして、何をしないのかと同様に、無意識と恣意性、真実と偽りがつきまとう。

それがもたらす帰結自体も含め、全ては可能性に満ちている』。
あらゆる物事に可能性が溢れているということ、多くの方と共有し、対話するきっかけになれば幸いです。



Shota Kono

1984年生まれ。写真家・ホンマタカシ氏に師事後、フリーランスとして活動。2019年には、個展「ある惑星 / A planet」(people)を開催した。
HP: <https://shotakono.net/>

テラススクエア
東京都千代田区神田錦町3-22

EVENT INFORMATION 2022 Summer



venue **AMMON TOKYO**
田:UCHIGO and SHIZIMI Gallery period 2022/7/1Fri - 2022/8/6Sat

exhibition

蔡云逸 (サイ・ウンイツ | CAI YUNYI Clarice) 個展
The Water Support the Fire, The Water Support the Fire, Day Version

水と炎の関係性をテーマとした本展は「昼の思考」に焦点を当て、展示を構成。言葉の発生よりも先にある無垢な物語を意識しながら表現に挑む、蔡氏独自のポエティックな世界観を是非お楽しみください。

日時: 7月1日(金)～8月6日(土) 10:00-18:30
開催場所: 千代田区神田神保町2-11-4 メゾン・ド・ヴィレ神田神保町1F

venue **art gallery & Legion**
period 2022/7/21Wed - 2022/8/28Sun

exhibition

こどものためのアート展2022

美術家カセイノウエさんの作品<Swimming Birds>によるインスタレーション空間に囲まれた会場で、子どもワークショップを開催。この夏、お子さんと一緒に楽しくアートに触れる機会を作しませんか。



ウィンドウ展示日時: 7月21日(水)～8月28日(日) 12:00-18:00
ワークショップ日時: ①2022年8月21日(日)14:00-15:30、②2022年8月28日(日)14:00-15:30
開催場所: art gallery & Legion(千代田区神田神保町2-11 三橋ビル1F)

venue **TOBICHI**

1.日時: 2022年7月22日(金)～31日(日)11:00-19:00 2.日時: 8月25日(木)～11:00-19:00
開催場所: TOBICHI 東京(千代田区神田錦町3-18ほぼ日神田ビル1F)



exhibition

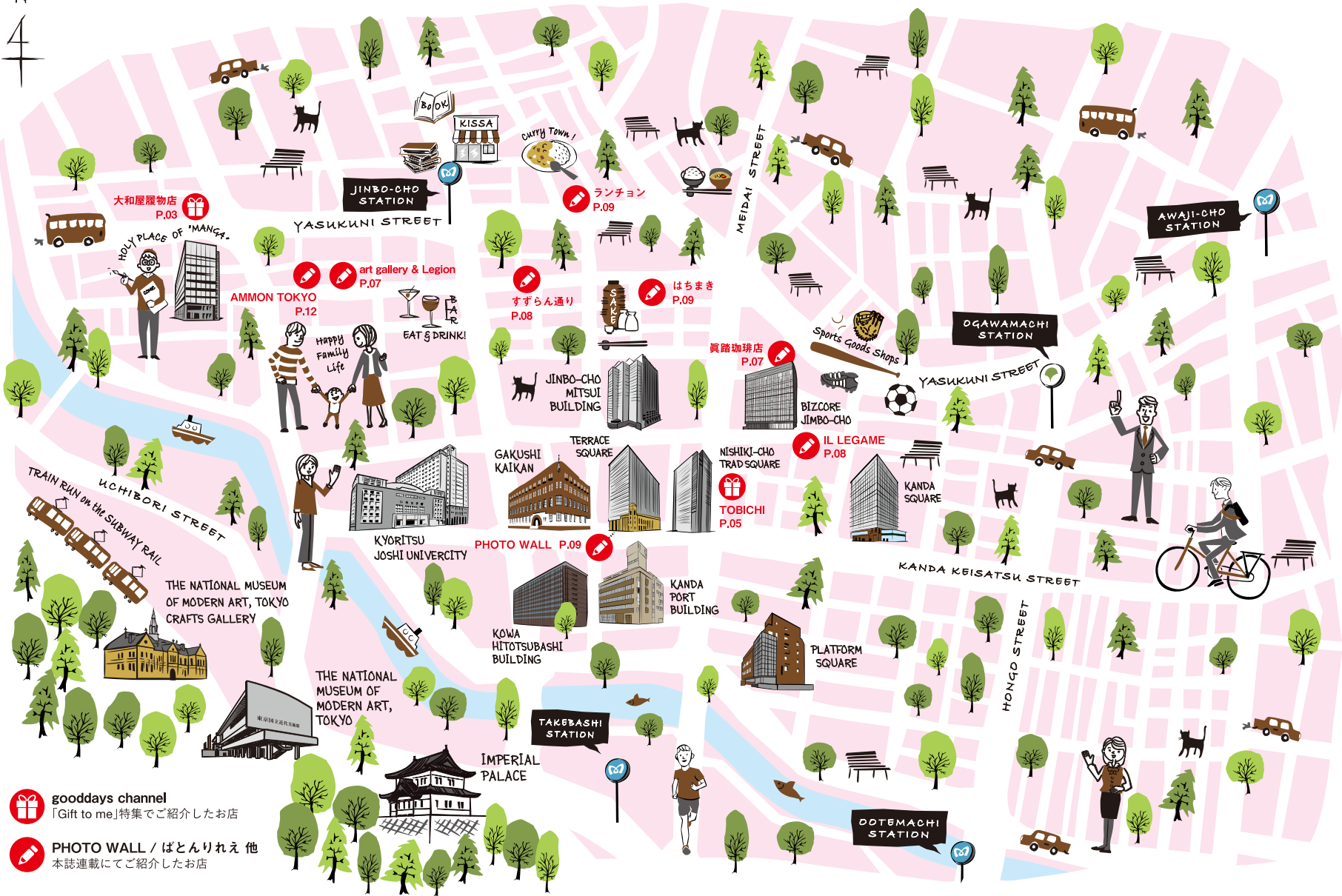
1. 柴田ケイコ展(仮)

ほぼ日のベストセラー商品のひとつ「やさしいタオル」に人気絵本作家の柴田ケイコさんによる柄が登場。それを記念した展覧会を開催します。描き下ろし原画、手作りのこけし、一輪挿しなどが並ぶ予定です。

exhibition

2. ほぼ日手帳2023(仮)

ほぼ日手帳の2023年版のおひろめを8月25日(木)から開催予定、9月1日(木)に発売します。全ラインナップを手にとって見る事ができるのはTOBICHIだけです、どうぞおたのしみに。



AREA MAP

 gooddays channel
「Gift to me」特集で紹介したお店

 PHOTO WALL / ぼとんりれえ 他
本誌連載にて紹介したお店



大和屋履物店 全

大和屋履物店

大和屋履物店 全

大和屋履物店 全

